



の が き 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2024年7月31日 No.192 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

核兵器のない世界を

国民平和大行進、杉並平和のつどいが開催されました

7月26日、核兵器廃絶をうったえ、全国各地から被爆地を目指してリレー行進する「国民平和大行進」が杉並区内で取り組まれ、私も参加してきました。原田あきら都議、党区議団も参加しました。**核兵器廃絶をうったえ 被爆地・広島までリレー行進**



な連帯につながることを期待します、と述べています。

そして、区長自身も「平和のためにこれからも力を尽くしていきたい」と結んでいます。

約100名の参加者は核兵器禁止をアピールしながら、中野の杉山公園まで行進しました。

夜は杉並平和のつどいを開催

夜は東京土建杉並支部で「杉並平和のつどい」が開催され、50名が参加しました。

岸本区長からのメッセージ

行進出発の前に杉並区役所前でスタート集合が行われ、今年も岸本聡子区長のメッセージが区民生活部管理課長から読み上げられました。

ウクライナやガザなど世界平和が脅かされる危機的な状況で

一人ひとりが平和の実現を願

い、行動していくことが大切、平和行進が平和を希求する多くの人々の心を揺り動かし、大

日本原水協常任理事の川田忠明氏が「核兵器禁止条約の力と世界大会の意義」をテーマに講演しました。杉並の運動が全国を励ましていくこと、8月4日から6日、広島で開催される原水禁世界大会・広島には21世紀で最多の政府代表が参加することなどの報告がありました。

杉並からは7名が世界大会へ

今年の世界大会には杉並から7名の代表団を派遣します。党区議団からは富田たく区議、小池め

ぐみ区議が参加する予定です。参加者に向けて、土建のひまわりの会（主婦の会）から折り鶴が手渡されました。（写真）



原水爆禁止世界大会を杉並で視聴できます！

8月4日(日) 14時～16時半
…開会総会、杉並代表団が登壇
8月6日(火) 10時半～13時
…ヒロシマデー集会
視聴会場 馬橋ピースホール
(日本共産党杉並地区委員会3階)

都が早稲田通りの拡幅事業に着手 説明会での住民の声は？

7月27日、東京都は早稲田通りの拡幅事業の用地説明会を開催しました。私も参加し、用地補償や住民の声を聞いてきました。**道路拡幅で沿道の住宅や店舗はどうなる？補償は？**

会場には測量図が掲示されており、これまで話を聞いてきた地権者の土地を確認しました。道路拡幅事業における用地買収は、土地の全部ではなく、沿道の一部となる場合（左図参照）が多いため、地権者からの質問もその部分に関わる内容がほとんどでした。

丁寧な説明と十分な補償を
しかし、東京都はコロナ禍を理由に、本来は最初に開催すべき事業説明会を行いませんでした。拡幅と同時に進められる自転車走行空間の確保や電柱の地中



▲土地の一部が買収となる場合が多い（説明会の資料より）

強制的な土地収用はやめよ

今年3月、東京都の土地収用のための方針が議会や自治体に説明もなく変更され、63人体制の「機動取得推進課」が新設されました。これは7月2日に共産党都議団が記者会見を開いて明らかにしたものです。詳細は、下記の二次元コードから党都議団のユーチューブチャンネル「小池都政の驚くべき強権的『土地収用促進』方針について」をご覧ください。
この件について都職員と話しました。この路線においては機動取得推進課が関わる動きはないとのことですが、強制的に



土地収用手続きを進めることがないようにと伝えました。

説明会では、「旧早稲田通りは狭くて危ないが拡幅しないのか」という質問も出されました。同様の意見は以前から区にも寄せられています。早稲田通りと旧早稲田通りは都道のため、区から都にも住民意見として伝えていくとのこと。

事業の詳細は下記の二次元コードから都ホームページをご覧ください。



弁護士による法律相談

毎週 水・金曜 2~4時半

会場 日本共産党杉並地区委員会

高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551

※予約は必要ありません。
当日に現地です。



あきりの部屋

この夏も記録的な猛暑が続いています。熱帯夜で寝る時もクーラーを付けている方も多いと思いますが、電気代が心配です。東京都は2050年カーボンゼロ、2030年カーボンハーフを目標に掲げていますが、2021年速報値では温室効果ガス2・3%しか減っていない状況です。それに輪をかけて、小池都政は神宮外苑の樹木を伐採し、高層ビル建築を進めています。

資本家のスローガンとも言われる「我が亡き後に洪水よ来たれ」という有名な言葉があります。「洪水」は国民の混乱を表現しているようですが、現代の気候危機・地球温暖化においては本当に洪水という現象が起こり得ます。原発推進政策に回帰し、省エネにも消極的で再生可能エネルギーも普及しない自公政権のままでは、洪水を呼んでいるのと同じこと。洪水を止めるのはやはり市民と野党の力です。